



福岡県東峰村

議会ウォッチ

1月号
2020 JANUARY



ココに注目!

鉄道での復旧を1日でも早く《東峰見聞録》 P2

百姓がおらんごつなるばい!《農災特集》 P6

どげんなっちよる?《一般質問》 P10

表紙 / P2・3 東峰見聞録より 日田彦山線の完全復旧を求める会代表インタビュー

シリーズ 豪雨災害を乗り越えて
「鉄道での復旧を1日でも早く」
日田彦山線の完全復旧を求める会に聴く
(令和元年12月取材)



令和元年8月31日決起大会

会をつくったきっかけ

「この会を立ち上げたきっかけは？」とまず伺いました。

「災害から2年とちょっと立ちましたけれど今までは生活を立て直すのに精一杯でした。少し落ち着いてきて周りを見つめ直した時に、日田彦山線がまだ通っていない、復旧の見通しも立っていない現実がありました。」と。

その時に自分達も『どげんかせんといかん!』と考えられたそうです。

JRに対して思いのある有志たちで、何か会をつくり運動をしてはどうだろうか、という話がきっかけでした。

運動は決起大会から

片岡拓之氏、佐々木茂季氏、和田将幸氏を中心に運動を始めました。決起大会を皮切りに、多くの方々の協力も得ながら署名活動等を行い、県やJRへも

想いが伝わらない歯がゆさ

「JR側は16億円を地元自治体が負担しなくては、鉄道での復旧はないと、かたくなに言っています。東峰村役場や村議会の人たちも動いていますが、なかなか前に進まない現実があります。署名も13,000名(12月現在)を超える数が集まっています。私たちから見れば、福岡・大分両県知事がもっと力を入れていただければと、歯がゆい気持ちです。」

「JR側から良い返事をもらえず心が折れそうになった事も何度かありました。しかし、住民の皆さんの顔が浮かび、その人たちのためにも頑張っていこうと思えました。」



めがね橋

度々お願いに出かけて行きました。

「決起大会や署名活動等は、マスコミ等にも取り上げていただき、たくさんの方々の反響がありました。そういう事をしないと、日田彦山線問題には、もう尻に火がついている状態になっていると思っています。」



発起人代表 片岡拓之氏(右)、和田将幸氏(左)

ムシロ旗を立てても

「福岡県議会では栗原議長を中心に、地元選出の中嶋県議等の協力を得て、質問等で知事に決断を迫っていただいています。私たちも地元の人たちの熱意を、県やJRに伝えるために、『ムシロ旗を立てても』という気持ちで頑張っています。」

時間はありませんが村民の方々もご協力の程を、よろしく願っています。

東峰村議会



令和元年12月21日、被災した大行司駅舎も再建



一人でも多くの農家が継続して農業できる環境を考えていかなければなりません。

百姓がおらんごつなるばい!

未だ手つかずの河川に隣接した農地

令和2年度以降に着工予定の河川災害復旧工事箇所を示しています。改良設計区間につき、設計等が長期化している。河川復旧工事の完了時期を考慮すると農地復旧工事の着工が令和3年度以降になる可能性があります。このままだと、農業を再開する方が少なくなるのではないのでしょうか。

その他の農地復旧もこれから本格化!

農災進捗表

令和元年11月末現在

	国庫補助対象分			合計
	完成	発注済	未発注	
農地	31箇所	62箇所	59箇所	152箇所
農業用施設	18箇所	17箇所	23箇所	58箇所
計	49箇所	79箇所	82箇所	210箇所
国庫補助対象外	0箇所	0箇所	688箇所	688箇所

ぜひ、今一度ご確認を! 様々な補助が用意されています。

農地自力復旧事業補助金

農家自らが農地を復旧する費用に対する補助。
H31.1月より補助率改定
※補助率改定以前に補助を受けた方は、追加補助の申請をしてください。
【補助率】村：80%、個人：20%
【補助対象経費】事業費5万円以上
【補助金の上限額】1ヶ所あたり40万円

農業用水関連自力復旧補助

個人で整備した用水関連施設の災害について、施設の機能回復のため自力で復旧する費用を村が補助するもの。
【補助率】村：80%、個人：20%
(ただし、補助金上限額40万円)

農地復旧関連横断工作物復旧事業 (橋等の渡河構造物)

国庫の補助対象にならない個人もしくは受益団体が共同で整備した渡河構造物(農地へ渡るための橋等)を復旧するために必要な費用を村が補助するもの。
【補助率】村：75%、個人：25% (ただし、補助金上限額225万円)

共同利用施設災害自力復旧事業 (鳥獣侵入防止柵【金網フェンス】)

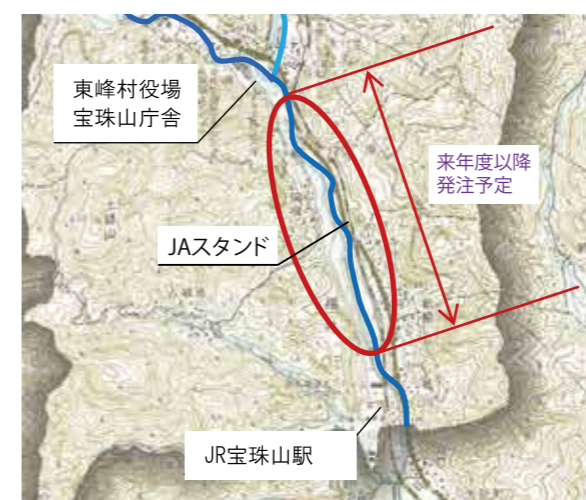
国の補助を受け村が整備した金網フェンスの復旧を農業者団体の負担により工事を行うものに対し、村が補助するもの。
【補助率】村：80%、農業者団体：20% (ただし、補助金上限額40万円)
【補助対象の下限額】 工事費5万円以上

農業用施設災害復旧事業 (仮工事)

2戸以上の施設関係者で行う仮工事。
(用水路の土砂撤去、ポンプ設置、堰、農道等の仮工事)
【補助率】 村：100%

ポンプ購入費補助金

ポンプ又は井戸を被災した農業者が、用水確保の為に購入するポンプ購入経費に対する補助。
【補助率】村：50%、個人：50% (ただし、補助金上限額5万円)



12月定例会トピックス **ここに注目!**

第6回臨時会(10月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
契約	可決	工事請負変更契約の締結について(栗林上地区がけ崩れ対策工事)	○	○	-	○	○	○	○	-	○
補正予算	可決	令和元年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第3号)	○	○	-	○	○	○	○	-	○

第7回臨時会(11月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
契約	可決	工事請負契約の締結について(農家レストラン・農産加工施設新築工事)	○	○	●	●	○	○	○	○	○
専決処分	承認	専決処分の承認を求めることについて(戸有地区がけ崩れ対策工事の変更契約について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(岩屋・伊王寺線岩屋駅前橋道路災害復旧工事の変更契約について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第8回定例会(12月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
条例	可決	東峰村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村部落差別をはじめあらゆる差別の解消を推進し人権を擁護する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村一般職の職員の給与に関する条例及び東峰村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	可決	令和元年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	令和元年度東峰村国民健康保険事業会計歳入歳出補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約	可決	工事請負契約の締結について(林道栗林線開設工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	可決	平成29年7月九州北部豪雨災害及び平成30年7月豪雨災害、令和元年8月の前線に伴う大雨災害からの復旧・復興に係る特別の財政支援を求める決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可決	村道路線の廃止について(水浦1号線、水浦2号線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和元年12月定例会を12月10日から17日の会期にて開催しました。条例議案8件、補正予算議案2件、工事契約議案1件、発議1件、村道廃止議案1件を慎重審議し、原案どおり可決しました。また、7人の議員が一般質問を行いました。



入退団式

課題・現状
 今後の人口減少問題を考える中で、継続的な団員の新規確保も難しくなり、組織力の低下が懸念される。今までの消火活動重視から自然災害にも対応可能な組織であることが求められている。

決定事項

- 定年延長による 条例定数172名の維持**
- ・今まで運用していた43歳定年を延長し、50歳もしくは団歴25年のいずれかに到達した場合に退団とする。
 - ・現役団員の定数を130名から115名へ、機能別団員数は現行42名を15地区から1名ずつ追加した定数57名とする。

- 機能別団員制度の強化 (活動内容の変更)**
- ・一般団員と同じく訓練(全団員・教養・模擬火災訓練)、毎月1日、15日の機械器具点検は原則参加。ただし、式典(出初式・入退団式)、夜警、操法大会には基本的に参加しない。
 - ・年間報酬は2万円(以前は1万5千円)、出勤手当は実働回数に応じて1回につき1,500円を支出。

消防団員確保が厳しい現状 定年延長と機能別団員増を決定

こうした団員定数改革・議論はしていきませんが、人口減少は避けて通れません。災害時等の消防団の活躍は大きなものがあります。さらなる村民の皆様のご協力・ご理解をお願いいたします。

どげんなっちゃう？

一般質問

質問順	議員名	質疑事項	
1	梶原 光春	役職や会議の縮小について	・・・P11
		災害復旧事業の見通しについて	・・・P11
		日田彦山線復旧について	・・・P11
2	泉 守	建設業者への入札後の指導について	・・・P11
3	大蔵 久徳	国道211号線拡張について	・・・P12
		旧宝珠山小学校の活用について	
		被災者支援について 地域力向上について	
4	黒川 隆康	老朽化した公共の建物に対する対応について	・・・P12
5	梶原 伯夫	鶴地区の迂回路について	
		小石原地区水道について	
		東峰テレビと日田彦山線問題について	・・・P13
6	高倉 寛視	ふるさと納税について	・・・P13
		ゲストハウス事業について	・・・P13
7	高橋 弘展	宝珠山ふるさと村の経営について	・・・P14
		東峰村保育所・保育園のあり方について 指定管理者制度及び施設について	

一般質問とは・・・

議員が、村の行財政全般にわたって執行機関に疑問点を投げかけ、自治体としての考えを求めるものです。1年に4回ある定例会にて行うことができ、質問と答弁を合わせて1人60分の時間制限の中で行われます。また、東峰村議会では事前に質問の概要を提出し、議会開会前に執行部は答弁の準備を行います。



梶原 光春 議員

河川に隣接する農地復旧着工は
― 村長 一部は令和3年度以降も想定

議員 大肥川・宝珠山川復旧工事と河川に隣接する農地復旧工事の着工時期は。
災害対策室長 大肥川・宝珠川の改良部分は、令和3年度までに予定している。農地復旧は、それ以降になる所も出てくると思われる。

日田彦山線復旧について

議員 日田彦山線復旧について、9月以降に進展はあったのか。
村長 各市町村でのJR説明会后、日田彦山線の完全復旧を求める会を中心に、8000名余りの署名を取って、小川県知事と栗原県議会議長に要望書を提出した。村として、運行費用の負担なしでの鉄道での復旧に全力で取り組んでいく。



未だ着工しない河川及び農地 (鼓・鶴)

役職や会議の縮小について

議員 人口減少と高齢化により、行政区役職員(区長、連絡員、農事小組合等)のなり手が少なくなっている。会議や配布物の縮小についての検討は。
村長 大字単位での地域コミュニティも考えられると思う。配布物で不必要な物は配っていないので、現状は維持していきたい。



泉 守 議員

工事業者への安全対策指導は
― 村長 県土整備事務所に改善を要請

議員 入札後、工事業者に対し、どのように安全対策を指導しているのか。
村長 安心・安全な村づくりを推進していくために、災害復旧をはじめ各地区からの要望等に応えるべく、様々な工事を行っているのが現状。

現在の災害復旧工事では、ダンブ等が非常に多く走っており、住民の方々にはご迷惑をおかけしている。村発注工事については、着工前に区長とまず相談し、そして意見をいただく。必要に応じて、近隣住民の方々には運搬ルート等も含めて説明している。

再度、地元車優先ということを県土整備事務所と確認し、改善を要請したいと思っている。



ダンブが通行すると離合できない (天ヶ谷)



議員の想い

安全対策を徹底して
いただきたい

議員の想い

いつになったら
元に戻るのかなあ



大蔵 久徳 議員

国道211号線の拡幅工事は ——村長 早期事業化を要望している

議員 上福井地区を通る国道211号線の歩道設置工事はいつから始まるのか。

村長 今年度に砥石渡橋付近を一部着工して、令和3年度の完成を目標に工事を行うと県より報告を受けている。

議員 大行司地区の国道は、幅が狭く歩道もない。村は拡幅の要望を県に提出しているのか。

村長 他にも、鶴地区、蔵貫地区、東地区、塔の元付近等、拡張整備が望まれるところは早期事業化への要望を行っている。

議員 下川商店付近までの拡幅工事が終了して20年以上経つ。必要性を訴えて災害工事が終わればすぐ着工できるように、要望を出すことはできないか。

村長 予算の年次計画で要望を出すだけの理由を考えて、予算

確保がされているものと思う。

議員 大行司地区の改良工事は旧ナガノ木工か、山側を通るといった話を聴くが、どうなっているのか。

村長 そついった点は県にも相談したことがあるが、現状では全く考えていないとのこと。



通学路としては大変危険 (宝珠山・大行司)

議員の想い

熱意をもって
要望していただきたい



梶原 伯夫 議員

東峰テレビの放送番組再考を ——村長 テレビ審議会で見聞を聴く

議員 新聞に番組制作委託業者の名前が、東峰テレビ代表として掲載されていた。東峰テレビの責任者は誰か。

村長 東峰テレビは村営テレビ局なので、局長は、副村長。最終的な責任者は村長。

議員 村民が一番関心のある日田彦山線等の問題は、なぜ東峰テレビで放送できないか。

村長 説明会等の様子は逐一放送している。討論会等は考えたい。

議員 災害も起きた時の様子は放送したが、その後復旧完了した箇所等は放送していないがなぜか。

村長 災害箇所のことは、災害対策室等で検討して、放送していきたい。



村民の為のテレビには程遠い(東峰テレビ局)

議員の想い

プロデューサーは
線の下の方持ちでは?



黒川 隆康 議員

老朽化した公共施設の解体は ——村長 管理計画に基づき検討していく

議員 旧宝珠山役場庁舎は、老朽が進み危険である。解体し、跡地活用を検討して頂きたい。

村長 使用団体より、令和2年4月4日のコンサートを最後に返却予定である。返却後、公共施設等総合管理計画に基づき検討していく。

議員 旧宝珠山中学校校舎の老朽化対策は。

村長 令和2年3月までに返却とのこと。管理計画では除去対象施設となつているので、解体撤去の方向。

議員 平成27年6月の質問後、管理計画は作成し、解体等は検討されたのか。

総務課長 平成29年3月に策定し、解体等の財源について調査。その結果、解体についての交付税措置がなく村単独事業となる。



老朽化した旧宝珠山中学校

議員の想い

解体費用の早期調査を



高倉 寛規 議員

ふるさと納税の助言は適切か ——副村長 専門家を任命していない

議員 ふるさと納税担当の地域おこし協力隊員に対し、企画にダメ出しをされる木下氏と一村民の方がいる。また、その方々は、隊員が窯元さんと話を進めているのに、直接窯元さんに連絡して混乱させている。村から何も委嘱・委託されていない方々に対して、村は何も言えないのか。

副村長 以前から木下氏よりアドバイスを受けている。混乱させているアドバイスの真意はわかりませんが、村を挙げて予算の処置、体制の充実などを考えていく中で、協力隊員一人で解決できる問題ではないと、言ったものだと解釈している。

頑張ろう!
地域おこし協力隊!!



議員の想い

村はなぜ何も委嘱していない方からアドバイスを
受けるのか



住宅売却案件は解決したのか
— 村長 伊藤氏に対し裁判を起こした

議員 以前の「失念していた」という答弁は嘘です。

経過は、災害後11月に村内友人を頼り伊藤ちずる氏は村長にメールを送信。内容は河川改修によって立ち退きを迫られ、近隣のふるさと村所有の住宅を購入可能かとのこと。すぐ村長より村内友人に電話で、「ふるさと村での対応となる」と返事があり、払下げ検討を依頼した。その後、澁谷村長からは返答がなく、翌年3月にその住宅を尋ねられた方と話が進み、5月に役員会にて売却方針が決定。11月に売却。しかし、その後の問合せで、今年3月の役員会にて「本人から正式な意思表示がなかった」と村長は述べ、5月のメールでは「配慮が足りなかった」と。全然失念していないではないか。
村長 本議会での議論は差し控えたい。

議員 その後どのような経過か。
村長 債務不存在確認請求事件として伊藤氏に裁判を起こした。債務不存在確認請求・・・被害の請求に対し、それが存在しないことの確認を求めること。



福岡地裁で裁判が行われる予定

議員の想い
迷惑をかけた方に対し、裁判とはどういうことか？

カケ村の調査隊

議会広報モニターからの東峰村内の気になる“ギモン”を調査するコーナーです

第3セクター「宝珠山ふるさと村」 どんなことを している会社??

(株)宝珠山ふるさと村は、旧宝珠山村の時にいぶき館開業に合わせ、それまで村が持っていた施設を一括的に管理運営し、業務を効率化することを目的に設立されました。

当時は施設ごとに管理者が異なっており、一括管理により村外から来るお客様に対して窓口の一本化や人事の交流等が図れるとのことでした。設立当初はいぶき館、岩屋キャンプ場、ほうしゅ楽舎、棚田親水公園、岩屋湧水の指定管理者となり、平成21年からは特産品の開発及び販売を行っています。

平成29年災害以降は、ほうしゅ楽舎が土石流により倒壊し営業中止に。岩屋キャンプ場はリニューアルを機に村へ指定管理を返還し、現在は一般社団法人竹棚田が運営しております(議会ウォッチ57号を参照)。よって、現在の運営施設は、いぶき館、棚田親水公園、岩屋湧水です。



いぶき館

旧ほうしゅ山荘を活用し、棚田や修験などの山村文化と炭鉱の歴史を展示、企画展として高倉健ポスター展を継続して実施している。近年の来館者は高倉健氏死去後の平成27年度の8,916人をピークに平成30年度は災害後の影響もあり3,083人。料金は大人300円、小中高生150円。定休日火曜日。



棚田親水公園

宝珠山川の水を引き込んだ河川プールは、「このぼりプール」と呼ばれ、7~8月の間に開放され村外から多くの家族連れで賑わう。災害後は来場者が減り、平成28年は17,994人だった来場者は、平成30年は9,677人となっている。料金は清掃協力金200円/人、駐車料金500円/台。



岩屋湧水

釈迦岳トンネルの堀削の際に湧き出た湧水を筑前岩屋駅横で販売している。クセのない、まろやかな味が特長。「平成の名水百選」として、福岡県では唯一認定を受けている。災害後は道路状況や橋の岩屋駅前橋の流失により売上が約1/3に。平成28年455万円、平成30年度(7月~3月)107万円。100円/30L。



<特産品> 柚子と米酢のドレッシング、ボン酢、柚子ジンジャー、棚田米、柚子胡椒等の加工及び販売を行っている。今年からは宝珠山きのこ生産組合のしいたけを使った「しいたけカレー」を開発・販売しています。他には、東峰村ライスセンターで生産されたゆずペーストを業務用として販売し、明太イワシやイカ明太の原材料として使われている。年間売上は平成28年度が350万円、平成30年度が1400万円。災害以降は復興応援という形で販路が広がっている。

■企業データ

株式会社 宝珠山ふるさと村
資本金 1億円(資本準備金1億3560万円)
(以前は資本金が2億3560万円だったが、その後1億円に減資し1億3560万円を資本準備金としている)
発行済株式 4712株
(内12株は設立時の村長・助役・課長・議員が経営の助言及び監視のため出資保有)
設立年月日 平成16年4月30日
決算 3月末
従業員数 5名(取締役専務含む)

Q: なぜ資本金が1億円もあるの?

A: 合併前に旧宝珠山村と旧小石原村が保有していた基金額に差があり、均衡を取るために旧宝珠山村が基金を取り崩して出資したため。

突撃! 村役場

村民ポストは

活用されているか

村民の皆様は宝珠山庁舎下、小石原庁舎入口左にある、「村民の意見箱」なるポストがあることを、ご存知でしょうか。徳川8代将軍吉宗が、庶民の意見を聞くために設置したといわれる「目安箱」が、現在、東峰村でも住民の意見や、思いを行政に届けるためのポストとして設置されています。村民の皆様は、現在村が行っていることに対して何か意見をありませんか。こういうことを出来たらいいのではないかと、こんなことをやればいいのか、ないか、とか。



多くの皆様のご意見を、行政のみならず私たち議会にも届けていただけたらと思います。よろしくお願いたします。

現在、村が行っている事業についての、思いや皆様の考えを村長に、届けてみてはいかがでしょうか。役場の担当に聞いたところ、意見箱は月1回くらいしか開けられていないようです。皆様が出された意見は、担当課で協議して村長に届けられます。匿名で出された方には返答はできませんが、実名の方には返答をするそうです。



の一言が開店の後押しとなりました。

「29年の災害時はボランティアの人たちに助けられ、1カ月で店が再開できました。その後、昼間のお客さんはまあまあ戻ってきていますが、夜のお客さんは少なくなりました。開店して5年経ち経営は厳しい状況だが、儲けなくていいので自分の体が続くかぎり、この仕事を続けていきたいです。」と希望を語られました。

つづみの里（小石原鼓）内にある『11番』に行ってきました。「父を看病するため実家に家族で帰って来ました。帰村前は中華料理店を経営しており、たまたまこの店舗が空いていたので、自分の料理を地域の皆さんや来村者に提供したい気持ちで湧き起りました。以前の店は夫婦で切り盛りしていたので、妻に相談したら『ひとりでもやるならいそよ』と。」最後は奥さん



人気のちゃんぽん



店主の梶原辰次さん

野球が好き！
以前住んでいた志免町で、少年野球チームの代表をしている関係で、月2回の土日は今でも店を休んで応援に行っています。そのチームが全国大会で準優勝しました。

編集後記

あけまして

おめでと〜ございませす

災害から今年で3年になります。早い復旧復興を目指してまいりましたが、まだまだです。

道路・河川は少しずつ完了しつつありますが、まだまだ時間がかかりそうです。

一日も早く復旧をやらねばと、みなさんと頑張っていますので、本年もよろしくお願いたします。

(梶原 伯夫)

発行／東峰村議会 編集／議会広報特別委員会	発行責任者	議長	副議長	委員	委員	委員	委員	委員	委員
佐々木 紀嘉	梶原 伯夫	梶原 光春	高倉 寛視	長澤 貞義	高橋 弘展	高橋 弘展	高橋 弘展	高橋 弘展	高橋 弘展